

アスター播種講習会

(1) は種について

は種時期：3月末～4月10日頃までに行う。

収穫時期をずらす場合には 10日前後播種をずらす。

播種の順番：あずみ・プリリアン>松本>ふじみ・ステラ

播種作業

【用意するもの】

種子、培土、コンテナ、新聞紙、土ならし板、ダンポール

ふるい、ふるった土（花専用培用土）、小型バケツ、カップ、軽量スプーン

- ① 育苗箱の底に新聞紙を敷き、培土を入れ均一にならす。土の深さは7cm以上
- ② 蓮口等を上向きにして静かに水を与え、育苗培土全体に水分が含まれるようにする。
- ③ 均等な播種を行うため、ふるって乾かした培土と種子を混ぜて増量する。
1箱当たりの増量用の土は20gが目安（洗剤の計量カップ1杯分）（表1参照）
- ④ 播種後に覆土を行う。厚くなりすぎないように若干種子が隠れる程度に行う。
- ⑤ 覆土が終わったら、新聞紙をかぶせて床土の保湿と遮光を行う。（嫌光性種子）

（表1）播種時期と1袋当たりの品種別箱枚数（通常コンテナ）

品種	播種時期	種子	播種枚数
松本シリーズ	4月1～10日	5000粒	8箱
ふじみシリーズ	4月1～10日	3000粒	6箱
あずみシリーズ	3月25～31日	4800粒	8箱
ステラシリーズ	4月上旬	1000粒	2箱
プリリアンシリーズ	3月25～31日	1000粒	2箱

(2) 育苗管理

- ① 適温（15～20℃）であれば1週間で発芽する。
夜温0℃以上、日中25℃以下で管理。
- ② 6割以上発芽したら遅れないように新聞紙を取る。
- ③ 新聞紙除去後、表面の土が乾いてきたら一度にたっぷりおこない、過湿にならないようにする。
過湿状態：葉の縁が黒くなる、黒い斑点



(3) ほ場の準備

○立枯れ病対策

- 連作が3年以上の圃場は避ける。
- 圃場周辺にソルゴーを蒔く。圃場周囲 10a 当たり 3 kg
刈り込んだ後の残渣を圃場に漉き込めば緑肥としても利用できる。

○施肥（1 a 当たり）

- 炭苦土 5～10 kg ← 圃場の石灰の量で調整
- 有機オール8号又は有機物語 684 10 kg

※土壤診断結果を基準にする

○湿害対策

- 圃場に水がたまる場合には 15 cm 以上の高畝にする。
- もみ殻等の有機物を施用し空気を含ませる。
- 耕耘前に畝部分にネオカルオキソ粒剤（4 kg/1a）を施用
- 滞水しないように圃場周辺に明渠を掘る。



根腐れの症状

～チェーンポット育苗方法～

播種時期 4月5日前後

苗の出来上がりも1週間程早く活着も早い
ため、通常育苗より少し遅れて播種し適期定植する。
ただし、育苗適温を確保できる場合。

○必要資材

ロングピッチチェーンポット® LP303-10 264穴/1枚 株間10cm

・使用育苗箱 水稲用育苗トレイ (縦60cm、横30cm)

・育苗培土 長野スタイル N-180

培土1袋(400) = 育苗トレイ 8枚分

○播種の流れ

1. 展開枠を用いてチェーンポットを育苗トレイにセットする (図1)
2. 土詰め器に培土を入れ、セットした育苗トレイを差し込んで土を入れる (図2)
3. 土詰め後に押し込み板を使い、播種する穴を開ける。(図3)
4. 播種器を使用し播種後に覆土する。
5. コート種子を割るため、また培土に水がしっかり染み込むように灌水する。
6. 新聞紙や不織布を用いて乾燥を防ぎ、発芽後に被覆を取り除く。



【JA中野市営農センター】

住所：中野市金井 53-1

Tel：0269-23-3933

久野：080-6998-0407